

## 令和6年度 脇町中学校学校評価アンケート（保護者）結果から

令和7年2月実施

### 成果と課題

どの項目においても肯定的な回答を多くいただきましたが、否定的な回答もいただきました。アンケートの結果を受け、生徒一人一人の思いを大切にしながら、主体性を育てる学校づくりに取り組んでまいります。

○項目1「お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている」については、86%の肯定的な回答がありました。生徒用アンケートでも項目1「学校に来るのが楽しい」の肯定割合は同じでした。項目2「お子さんは、自分のよいところがわかっている」の項目を今年度つけ加えたところ、89%の肯定的な回答がありました。否定的な回答もあるため、生徒の頑張りや成長をしっかり認めるとともに、学校で生徒一人一人が活躍できる機会をつくることにより、自己肯定感を高めていきたいと考えています。

○項目3「お子さんは、ルールを守って生活できている」、項目5「お子さんは、相手のことを思ったり、理解したりしようとしている」では、ともに90%以上の肯定的な回答がありました。生徒アンケートでの同じ質問でも同様に90%以上の肯定的な回答があり、周りの人の気持ちを考えて生活しようとしている結果がでています。

○項目4「お子さんは、家庭で復習や宿題に取り組んでいる」、項目8「学校は、ICT機器の活用など、新しい教育に取り組んでいる」では、肯定的な回答が多かったですが、それぞれ26%、17%の否定的な回答がありました。自学自習できる家庭学習課題の内容を工夫したり、タブレットPCでスターサプリの課題配信を行ったりする等、学力向上への取組を充実していきたいと考えています。

○項目6「お子さんと学校のことについてよく話をする」については、83%の肯定的な回答がありました。「子どもは、ほめられるとうれしく、頑張ろうとします。」お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭でぜひお話しをしてみてください。お子様の頑張っているところや、よいところを認めてあげて、声をかけることを大切にしていいただければと思います。

○項目7「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」については、肯定的な回答が76%で、否定的な回答が23%ありました。本年度は、生活アンケートの結果や個人懇談の内容、生徒一人一人の変化等を学年・学校で共有し、教員がチームで対応してきました。また、人権集会や生徒同士での話し合い、人権アクティビティなどを積極的に取り入れることにより、生徒が主体となっていじめや差別をなくす態度を育てる取組も行いました。今回のアンケート結果を受け止め、いじめや差別を絶対に許さず人権を尊重する社会の一員として行動できる力を育ててまいります。

○項目9「学校は、学級や学校の様子を各種たよりや、ホームページ等で家庭へ知らせている」については、80%の肯定的な回答がありました。学校ホームページには、生徒の活動の様子等を定期的に公開していますので、ご覧ください。今後もホームページやさくら連絡網等のデジタル配信を効果的に活用して情報の発信に努めます。

○項目10「学校は、子ども・保護者・地域の意見や要望に応え、改善に活かそうとしている」については、78%の肯定的な回答がありました。今回の学校評価アンケートの結果を検証し改善を図ることや、脇町幼稚園・脇町小学校と連携して取り組んでいる脇町中学校区学校運営協議会委員の方からのご意見を学校づくりに反映することなどにより、「安心安全で魅力ある学校」、「地域とともにある学校」をつくってまいります。

○項目11「学校は、子どもたちが将来の夢や生き方について考えたり学んだりする機会を設けている」では、29%の否定的な意見がありました。本年度は、様々なキャリア教育に取り組んできましたが、今後は、生徒の学びに結びつくように系統的に行うことと、講演や体験学習では、できる限り保護者の方も参加できるようにしたいと考えています。

○項目12「体験学習や学校行事は、充実したものになっている」では、82%の肯定的な回答がありました。今後も、生徒が主体的に学び、互いに成長する体験活動や学校行事の工夫に取り組んでいきたいと考えています。

